

【理学部第一部科学コミュニケーション学科】

卒業認定・学位授与の方針[ディプロマ・ポリシー]

幅広い科学的知識とコミュニケーション能力を身に付け、建学の精神である「理学の普及」を体現することを目標とし、教育目標に沿って編成された各授業科目を履修し、所定の単位を修得することにより、以下の資質と能力を身に付けた人材に対して卒業を認定し、学士（理学）の学位を授与する。

1. 真に豊かな社会の実現のため、専門領域に限らず、人文科学、社会科学などの豊かな教養を修得し、国際性、倫理観と豊かな人間性を身に付け、他者と協調しながら横断的にものごとを俯瞰できる能力。
2. 体系的に編成された学科の講義、演習、実験科目、卒業研究の履修を通して得られた、確かな理学の知識に立脚した高度な情報学、データサイエンス、科学コミュニケーションの専門知識。
3. デジタル社会に主体的に参画し、情報および情報技術の活用、科学的な見方・考え方を、他者と協調し、学び、伝えるという科学コミュニケーション能力。

教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

グローバル化するデジタル社会において求められる知識が多様化している。デジタル社会に主体的に参画し、問題解決を行うことができる人材育成を目的とし、以下の方針で教育課程を編成する。

1. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実践する。
2. 情報学、データサイエンス、科学コミュニケーションを系統的に修得できるよう、これらを基幹科目として配置する。
3. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰できる能力、国際性、コミュニケーション能力、キャリア形成力、ELSI (Ethical, Legal, and Social Issues : 倫理的・法的・社会的課題) に取り組む能力を養う科目を配置する。
4. 1年次では、情報学、データサイエンス、STEAM (Science, Technology, Engineering, Art(s), Mathematics)、コミュニケーション、数学、物理学、化学の「必修科目」を配置し、科学コミュニケーションの基礎を養う。また、授業内容に応じ、講義に加え、演習を配置し知識・能力の定着を図る。
5. 2、3年次には、基幹科目と、各分野の「専門科目」を配置し、科学コミュニケーションの深化と各専門分野の幅広い知識を養う。また、相互の知識を有機的に組合せ、課題発見・解決能力を養う実習科目を設置する。
6. 3年次には、研究系科目を設置し、卒業研究の早期着手と、他分野の研究方法を身に付ける。4年次では「必修科目」の卒業研究によって実践的な研究を行い、基礎知識を深めるとともに、課題発見・解決力、論理的・批判的思考力、コミュニケーション能力の修得を図る。
7. 英語教育では、少人数のクラスを編成し、学習効果を高め、主体的な学びを導く。
8. 情報および数学、理科教員を養成するために、きめ細かな教職課程を編成する。

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

科学を主体的、協調的に学び、その内容を科学的に伝えることを探究する能力を養成する。その養成に必要な以下の学力を有し、意欲のある人を、多様な選抜方法により広く求める。

1. 高等学校段階までの学習内容を十分理解し、より幅広い科学的知識を身に付けようとする意欲があること。
2. 思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力などが十分な水準にあること。

入学試験では、特に試験科目に対して高い興味や関心を持っていることに加え、入学試験科目に課されない科目も広く学習していることが望ましい。

【入試形態ごとの入学者に求める能力と、その評価方法】

(A 方式 (4 教科型) 入学試験)

幅広い教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テスト(4教科)の得点を用いて選抜する。

(A 方式 (3 教科型) 入学試験)

本学部の特性に見合う教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力を持つ人を、大学入学共通テスト (3教科) の得点を用いて選抜する。

(A 方式 (2 教科+英語資格検定) 入学試験)

本学部・学科の特性に見合う教科・科目に対する基礎知識と思考力、判断力及びコミュニケーションスキルとしての英語を活用する能力を持つ人を、大学入学共通テスト(2教科)の得点と英語の資格・検定試験の成績を用いて選抜する。

(B 方式入学試験)

学科の特性に見合う基礎知識とそれを応用する能力及び思考力、判断力を持つ人を、独自の学力試験（数学、英語、理科）の得点を用いて選抜する。

（学校推薦型選抜（指定校制））

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、書類審査、面接、口頭試問により選抜する。

（総合型選抜（英語資格検定＋特定教科評価））

高等学校段階までの基礎知識と思考力、判断力、表現力を持ち、自ら学ぶ意欲と国際的な視野を持つ本学を第1志望とする人を、書類審査、英語の資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問により選抜する。

（帰国生入学者選抜、外国人留学生入学試験）

学問に対する姿勢や考え方、海外で身に付けた能力を持ち、自ら学ぶ意欲のある人を、書類審査、資格・検定試験の成績、小論文、面接、口頭試問等により選抜する。